



吉川市立吉川中学校
2020年4月開校

春夏秋冬

「考える 蓄える 伝える生徒」

令和7年度 4月号



生徒数 4月8日現在
1年生 281名
2年生 255名
3年生 267名
合計 803名

〒342-0038
住所 吉川市美南 5-17-1
電話 048-984-7565

『考える 蓄える 伝える生徒』

校長 伴野 忠

暖かな春の日差し、咲き誇る桜、そして風薫る素晴らしい季節となりました。新たに281名の新入生を迎え、全生徒数803名で令和7年度の吉川中学校の教育活動がスタートしました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学・進級、誠にありがとうございます。

さて、標題は開校6年目を迎える本校の学校教育目標です。今後、世界は本格的なAI時代が到来し、今までの常識では十分に対処できない時代が来るといわれています。その中で、自分らしく、たくましく未来を切り拓くことができる人材の育成ために創られた学校教育目標です。

教育活動が始めるにあたり、3つのことばについてそれぞれ具体化し、吉川中の全教職員で共通理解を図りました。

『考える』・・・「自らの考えを持ち行動する」・「自ら課題を見つけその解決に向けて挑む」

「他者の考えを受け止め、自らの考えを広げる」

『蓄える』・・・「自己肯定感を高め、夢や志の実現に向かう力蓄える」

「体験や経験から学び、考える力を蓄える」・「健康な身体と健全な心を蓄える」

『伝える』・・・「自分の意思を伝え実行に移す」・「悩みや不安に負けない心の強さを持つ」

「良さを見出し、取巻く人や地域に伝える」

「郷土の文化や伝統を誇りとし、それを大切に伝承する」

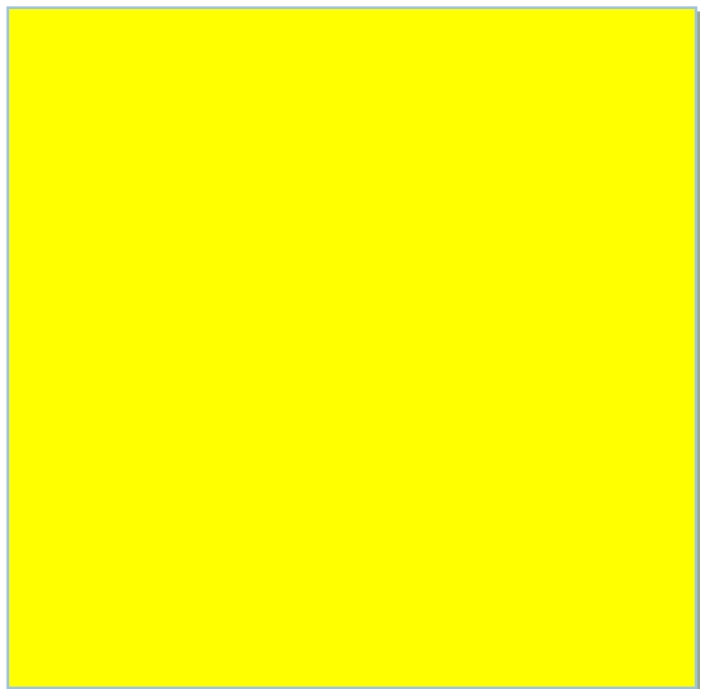
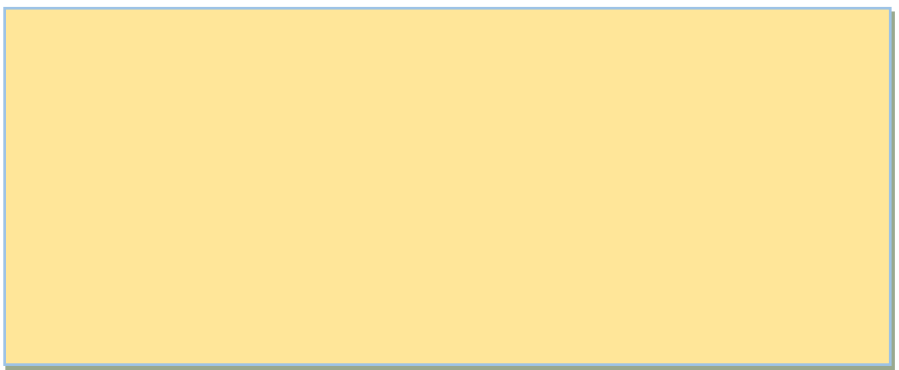
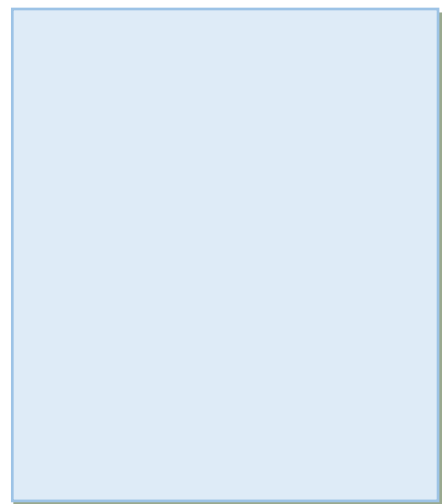
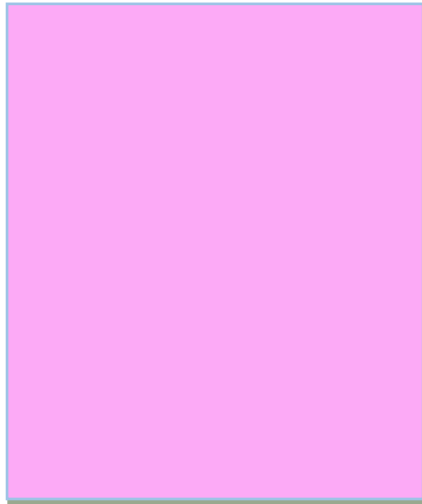
現代における課題に対応するには、これまで教わった知識を活用し正解を導き出していく必要があります。授業においても受動型から能動的なものへと改善し、『考える』力を育みます。また、今後ますます先行き不透明な時代になるともいわれていますから、生徒たちには、どんな未知な状況に遭遇しても、それに対応できるようたくさんの『引き出し』＝『力』を『蓄える』必要があります。そして、その正解を導き出したり、実行していく過程には他者へ正確に『伝える』力も必要となります。

中学校3年間は、とても多くのことを吸収できる時期であり、且つ、大人になる過程において人格を形成するうえで大変重要な時期と考えています。この3年間でどう過ごすかによって、将来幸せな人生を歩むことができるか否かがかかっていると言っても過言ではありません。吉川中学校全教職員がこの自覚のもとベクトルを同じくし教育活動を展開していきます。

保護者・地域の皆様におかれましては、令和7年度も吉川中学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

吉川市教育大綱 「 家族を 郷土を 愛し 志を立て 凜として生きてゆく 」

職 員 紹 介



【4月の主な予定】

- 8日（火）入学式（1年）
始業式（2・3年）
- 11日（金）給食開始
- 14日（月）避難訓練
- 16日（水）授業参観・保護者会（1年）
- 17日（木）授業参観・保護者会（2年）
全国学力・学習状況調査（3年）
- 23日（水）県学力・学習状況調査（1年）
- 24日（木）県学力・学習状況調査（2年）
授業参観・保護者会（3年）
- 25日（金）4時間授業
県学力・学習状況調査（3年）
- 30日（水）部活動保護者会

【5月の主な予定】

- 8日（水）3時間授業（給食後下校）
- 15日（木）第1回学校運営協議会
- 20日（火）体育祭予行
- 24日（土）体育祭 ※昼食持参
- 26日（月）振替休業日

★6月23日（月）～25日（水）修学旅行（3年）